

こっこめ通信 12 2012

「島の自然を未来へ残すこと」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

11月下旬、八丈島にはたくさんのウソとアカウソが渡ってきました。三原山では、5～6羽の群れになって、ハチジョウイボタの実を一生懸命食べていました。公園内でも口笛のような声が聞こえています。前回たくさん渡って来た時、公園内ではガクアジサイの実を食べていました。今年はいったい何の木に集まるのでしょうか？さて今回は、「特別行事『ホタル水路探鳥会』」「講演会『天然記念物の鳥たち』」のお話です。

特別行事「ホタル水路探鳥会」

講演会のため来島した（公財）日本野鳥の会・山本裕氏を講師に、11月18日の9時から2時間ほど、「ホタル水路探鳥会」が開催されました。ホタル水路は島の中央に位置し、小さな川が流れ、整備された池や水田もあり、山も近いことから鳥がとて多く、バードウォッチングのポイントになっています。

初めに双眼鏡を合わせる時、モデルになってくれたのは3羽のニュウナイスズメ。刈り取った稲から出てきた穂を食べていたのでじっくりと観察できました。ニュウナイスズメは渡りのスズメで少数が渡って来ます。上空を飛んでいたのはショウドウツバメ。こちらも食事中で少しスピードが遅く、双眼鏡で観察できた人もいました。川の中にはキセキレイ、水田跡にはクサシギなどの姿もありました。島の鳥たちも顔を見せてくれましたが、アカコッコだけは姿が見られず、カラスバトも一部の人しか見ることができませんでした。カシラダカは地鳴きだけ、モスクミソサザイは初めは地鳴きだけでしたが、サービス精神が良くさえずりも聞かせてくれました。

もう少し種類が見られるかと思いましたが、強風の影響もあり、15種類とすこし少なめの記録となりました。



写真はすべて以前に
八丈島で撮影されたもの

留 一年中見られる鳥

渡 島に渡って来た鳥

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

講演会「天然記念物の鳥たち」

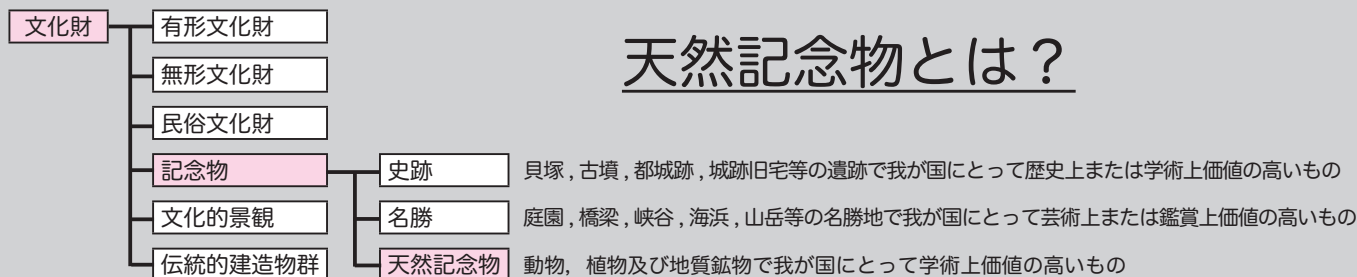
以前、三宅島のアカコッコ館で勤務していた伊豆諸島の鳥のスペシャリスト、(公財)日本野鳥の会の山本裕氏を講師に招き、17日の夜に講演会「天然記念物の鳥たち」を開催する予定でした。しかし、飛行機がまさかの欠航。講師が来島できないため、講演会は翌日に順延となりました。地続きではない離島ならではのハプニングでしたが、翌日は飛行機が飛び、無事に開催することができました。

この講演会は東京文化財ウィークに合わせた行事で、「国の天然記念物に指定されている野鳥の存在を身近な地域の財産として再認識してもらい、地域全体で環境保全の気運を高めるきっかけとすること」を目的として企画・開催されました。

講演はまず、文化財保護法の『文化財とは?』から始まりました。文化財は、“有形文化財”“無形文化財”“民俗文化財”“記念物”“文化的景観”“伝統的建造物群”の6つからなります。そして記念物はさらに、‘史跡’‘名勝’‘天然記念物’に分けられます。今回の演題にある‘天然記念物’は、記念物に含まれ、‘動物・植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの’とされています。(下図)そして、天然記念物に指定されると、荒らされたり、傷つけられたりすることがないように、文化庁長官の許可がなければ採集や伐採ができないなど、いろいろな規制がかけられます。また、特に重要なものに関しては特別天然記念物として指定されます。

国指定天然記念物は文化財保護法に基づき文部科学大臣が指定し、地方自治体指定の天然記念物は地方自治体の文化財保護条例によって教育委員会が指定します。(東京都指定天然記念物や八丈町指定天然記念物など)

天然記念物とは？



今回は、さらにこの天然記念物の中の『鳥』にスポットを当てています。鳥類においては、国指定特別天然記念物に8種と3カ所の地域が、国指定天然記念物に20種と32カ所の地域が指定されています。

これらの中で伊豆諸島に関わりの深い鳥類は、鳥島で繁殖し八丈島の沖合にも飛来する「アホウドリ(特別天然記念物)」、大島から青ヶ島まで生息する「カラスバト」と「アカコッコ」、春に大島から青ヶ島に渡って来て繁殖する「イジマムシクイ」、新島・神津島・三宅島・八丈島の属島で繁殖し周辺海域でも見られる「カンムリウミスズメ」の5種類です。アカコッコやカラスバトは、八丈島の人たちにとっては身近な鳥ですが、学術上価値の高い天然記念物に指定されていることを知っている人は少ないかもしれません。その他に、八丈島では「オジロワシ」「マガン」「コクガン」などが稀な渡り鳥として確認されています。

また、国指定天然記念物には含まれてはいませんが、本州の亜種とは違う、「シチトウメジロ」「オーストンヤマガラ」「ナミエヤマガラ(八丈島にはいません)」「モスケミソサザイ」「タネコマドリ」「ミヤケコゲラ(八丈島にはいません)」など固有亜種が生息していることも伊豆諸島の鳥類の特徴であり、重要な地域であることも強調されていました。(三宅島では村指定天然記念物に指定されている種もあります)

講演会の最後に、開発や植林による生息地の減少、属島に上陸することでの繁殖の阻害、イタチやヒキガエルなどの移入種問題など、様々な影響を軽減し、伊豆諸島の自然を将来にわたり残していくことが大事であるとまとめられていました。



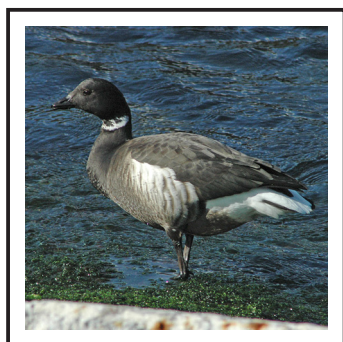
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 11 月 11 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 24 年第 11 回) 参加者: 小林、安彦、金田、八洲、沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			木本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	熟した実	1	イヌビワ	実	1	ウチワゴケ	
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	オオシマザクラ	狂い咲き	2	オオイタチシダ	
3	アキノノゲシ	花	3	オオバヤシャブシ	実	3	オオタニワタリ	
4	アシタバ	実	4	オオムラサキシキブ	熟した実	4	オニヤブソテツ	
5	イガガヤツリ	実	5	ガクアジサイ	実	5	カニクサ	
6	イワニガナ	花	6	カラスザンショウ	実	6	タチクラマゴケ	紅葉
7	ウスベニニガナ	花と実	7	サカキカズラ	蕾	7	タチシノブ	
8	ウリクサ	花	8	シチトウタラノキ	熟した実	8	タマシダ	
9	エダウチチヂミザサ	実	9	シマクサギ	熟した実	9	トラノオシダ	
10	オオアレチノギク	花	10	スダジイ	虫こぶ	10	ナチシケシダ	
11	オニタビラコ	花と実	11	テイカカズラ	実	11	ノキシノブ	
12	カタバミ	花と実	12	トベラ	実	12	ハカタシダ	
13	クズ	実	13	ハゼノキ	紅葉始める	13	ハチジョウカナワラビ	
14	コシロノセンダングサ	花と実	14	ハチジョウキブシ	花芽	14	ハチジョウシダ	
15	コセンダングサ	花と実	15	ヒサカキ	蕾と実	15	ハチジョウベニシダ	
16	コブナグサ	実	16	ヒメユズリハ	熟した実	16	ヒトツバ	
17	コミカンソウ	実	17	ホルトノキ	実	17	ホシダ	
18	サクユリ	実	18	マサキ	実	18	ホラシノブ	
19	ササガヤ	実	19	モクレイシ	実と蕾	19	マメツタ	
20	シチトウスミレ	花と実	20	モチノキ	実	今回はシダ植物 19 種を含む 75 種の植物を観察しました。芝生地の手入れが終わり、イネ科の雑草があまり見られなくなりました。秋の気配が濃くなってハゼノキやタチクラマゴケも紅葉し始めましたが、この日はカラスバトの鳴き声が盛んに聞こえていました。		
21	ススキ sp.	実	21	ヤツデ	蕾			
22	セイヨウタンポポ	花	22	ヤブニッケイ	実			
23	センニンソウ	実						
24	チヂミザサ	花と実						
25	ツルソバ	花と実						
26	ツワブキ	花						
27	ナキリスゲ	実						
28	ノコンギク	花						
29	ハチジョウアザミ	花と実						
30	ヒナギキョウ	実						
31	ヒメハギ	実						
32	ヘクソカズラ	実						
33	メヒシバ	実						
34	ヤクシソウ	花、盛り						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、冬に渡ってくることのある「コクガン」にスポットを当ててみたいと思います。



コクガン

Branta bernicla

カモ目カモ科の鳥。北極海沿岸のツンドラ地域で繁殖し、冬鳥として北日本の海岸に渡来し、越冬します。

八丈島にも稀に渡来し、漁港の中でアオサなどを捕食しています。

国の天然記念物に指定され、環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類にも選定されています。

2012 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 07 : 02 00 : 04 17 : 45 12 : 20
2 ガイドウォーク 07 : 34 00 : 37 18 : 17 12 : 52	3	4	5	6	●大雪 7	8 ガイドウォーク 05 : 21 19 : 07
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 01 : 38 06 : 44 12 : 55 20 : 05	10	11	12	● 13	14	15 ガイドウォーク 07 : 07 12 : 16 17 : 39
16 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」 07 : 46 00 : 38 18 : 25 12 : 59	17	18	19	○ 20	冬至 21	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「公園の木に 樹名板を付けよう」 00 : 24 04 : 50 11 : 44 19 : 19
23 ガイドウォーク 02 : 31 06 : 27 12 : 47 20 : 15	24 ガイドウォーク 03 : 39 08 : 09 13 : 47 21 : 00	25	26	27	○ 28	29 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 06 : 20 11 : 40 17 : 06 23 : 52
30 ガイドウォーク 06 : 47 12 : 10 17 : 40	31 ガイドウォーク 07 : 14 00 : 25 18 : 15 12 : 41					

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 12 / 9 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名
特別行事 「リースを作ろう」	毎年恒例、島の自然素材を使っていろいろなリースを作りましょう！ 12 / 16 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 10 名
八丈学講座 「公園の木に樹名板を付けよう」	毎月行っている八丈学講座。11 月の八丈学講座で調べた公園内の樹木に樹名板を付けます。 12 / 22 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名
年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」	ビジターセンターの年末年始といえこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！ 12 / 29 ~ 1 / 3 ビジターセンターの開館中 (9 : 00 ~ 16 : 45) いつでも・だれでも・無料 て〜こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10 : 00 ~	八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2012.12.1 第 139 号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷 2 8 4 3
電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

三宅島では、「ミヤケコゲラ」「オーストンヤマガラ」「タネコマドリ」「モスケミソサザイ」「ウチヤマセンニュー」「シチトウメジロ」の 6 種が村指定天然記念物に指定されています。しかし八丈町では 7 カ所の樹木だけ。鳥類も指定してほしいですね。(高)